@ 公開実用新業公報 (U)

₩4-86651

G 03 G B 65 H 35/65 55/88/23 55/88/23

Solat. CI. 1

108 厅内做班每号

春壺解水 未開水 開水項の数 2 (全3頁)

図本派の名称 ロージ無格必扱国

平2(1980)5月15日 平2-49836

惢 围 州 式会社内 埼玉県八湖市大学街ケ曽板713番地 リコーユニテケノ株

40

× Ġ

埼玉県八州市大字島ケ曽俊713番地 リコーユニチクノ株 **共会社内**

埼玉県八湖市大学組ケ湾度713参加

の使用が概念の情報の短囲

\$

陌

弁姆士

回

リコーユニテクノ株式

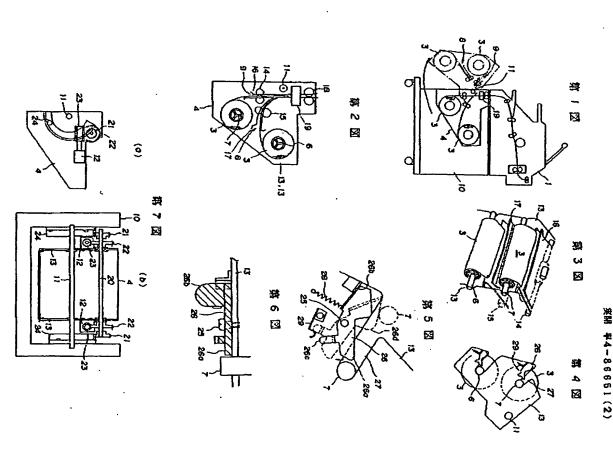
(1) 複数のロール依を保持し、且しロール依を持 西に位属して笛体が停止するよう樹成してなる 時には、約200一万倍が約回館出されて鉄下装 自在に始支し、弦体を放支点廻りに回動して偉 数列的強い、から、ロール低よりの始低口が原 機に対して紛糾可能状態に収納され、上昇回顧 ローク無格送機関。 体の下降時には甘寧体が支持フレーム内に被軍 他人になる資本1を文材ファームに対して回典 **導機に対して撤送する報送コロ及びガイド仮を**

② 契約ホータが留体に固定され、ウォームとウ の国の原母な政策 してなる結束項(1記数のロール抵給密装置。 された外間車とにより酸体が回動するよう構成 オームホイール、ギヤ及び支持フレームに固皮

えた汉が極の即略排成を示す側斯面図、第2回は 好」因は、本地族によるロース技術活象質を確

> た平面図、第1図はロール新保持部面動構造を示 大図、第6図はロール紙始保持部分を上方より見 は第4回におけるロール抵軸の保持構成を示す数 †悶、aは側面図りは正面所面図、である。 図はロール抵臨の保存領遣を示す側面図、毎5図 線で示す回動位置にある給送装置の斜視図、第4 給送技歴の分の側外面図、第3図は第1図に仮想

·・・ウオームホイーパ、23·・・・・ウオーム、24·・・ …カツター、20……株、21……ギャ、22… 八 27……券、28……スプリング、29…… …固定外値車、28……股ネジ、28……ストツ ……般送コロ、18, 17……ガイド板、19… **卒、6, 7……ロール批番、8, 9……拾無口、** 2……モーグ、13……信贷、14, 15, 18 10……支持フレーム、11……筐体の支輪、1 1……按導機本体、3……ロール紙、4……個

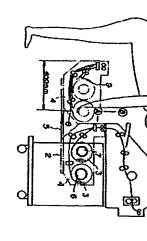


80 ⊠



図面の簡単な説明を次のように組正する。 明細治第9頁第9行目「である。」とある前に

楠正 平4 220



下記の文を挿入する。「算8図は従来使用されているロール抵給送装置を借えた接写板の類略構成を示すの新面図。」

BEST AVAILABLE COPY